**大村公園（さくら・しょうぶ・花の見ごろ案内）**

大村公園のあたり一面に咲き乱れた群葉や四季の花々が、玖島城の城内の眺望を形作っている。公園内では珍しい品種の桜がいくつか確認され、晩春になると、城のお堀に数千もの花菖蒲が咲き乱れる。

大村公園は、大村藩を統治していた大村家が築いた、16世紀の要塞である玖島城の旧敷地を取り囲んでいる。玖島城は、大政奉還により幕府が廃止された後、19世紀の終わりに廃城となった。その後、その敷地は再造成され、大村公園が開園された。

*珍しい品種の桜*

大村公園には、オオムラザクラ（学名：*Cerasus serrulata* ‘Mirabilis’）、クシマザクラ（学名：*Cerasus serrulate* ‘Kusimana’）の数種を含む、約2,000本もの桜の木がある。これらは、大村公園で見つかった1940年代に初めて確認された、珍しい八重咲種である。オオムラザクラとクシマザクラの木は、通常、淡い一重咲種で有名な、広く普及しているソメイヨシノよりも後、4月上旬～中旬に満開を迎える。

*花菖蒲のお堀*

晩春になると、玖島城の内堀に、171種もの日本花菖蒲（学名：*Iris ensata*）約300,000が咲き誇る。西日本最大を誇る花菖蒲の花が約9,500平方メートルにわたり咲き乱れる。花菖蒲は、通常、5月下旬から6月上旬まで花を咲かせる。

*大村フラワーフェスティバル*

大村フラワーフェスティバルの開催中、夜にはイルミネーションが行われ、来園者は、春と初夏の間、さまざまなライトの中で公園を楽しむことができる。大村フラワーフェスティバルは、桜やアザレアの花が開花する3月下旬から、アジサイの花の色が薄くなり始める6月下旬まで開催される。フェスティバルの開催中、桜、アザレア、藤、アジサイの花が次々と咲き、玖島城跡地に彩りを添えている。

*大村公園の花の見ごろ*

ソメイヨシノ：3月下旬～4月上旬

オオムラザクラ：4月上旬～中旬

クシマザクラ：4月上旬～中旬

藤：4月中旬～下旬

アザレア：4月中旬～5月上旬

シャクナゲ：4月中旬～5月上旬

日本花菖蒲：5月下旬～6月上旬

アジサイ：6月上旬～中旬